



出雲たたら村

Izumo Tataramura Village 2017

映画づくりの凄味を間近で

「古事記」「日本書紀」に数多くの記述がある出雲神話。

歌麿伝、相模、日本酒、和歌……

文化の発祥の地とされる出雲に「たたら」と呼ばれる、日本独自の製鉄技術があった。その「たたら」を題材にした、映画「たたら侍」の撮影が行われたオープンセットを「出雲たたら村」として公開します。

出雲大社の運営にも携わる地元の高宮大工、材木屋、建設会社などの協力によって、たたら操業を行う高殿、村下長屋、炭焼き小屋、元小屋などをほどこす多くの建屋が現代であることを忘れるほど本物に仕上げられ、映画の世界観をリアルに体感することができる施設です。

最新の情報は公式サイトで発信中!

<http://izumo-tataramura.jp/>

出雲たたら村



かぐらでん 神楽殿

五穀豊穡や村の安全などを祈り、神々に祈り舞を奉納する神楽舞台。神楽殿前は広場になっており、村人が集まれる場が作られています。撮影では地元の方々の協力を得て、本物の出雲神楽も観られました。



たかどの 高殿



「たたら製鉄」において、鉄を作る重要な場所。高殿を中心に周辺には関係者が集まる形を形成していました。オープンセットでは実際に地下構造までを造り、中世のたたら吹きを再現して実際に2度の操業を行い、迫力ある撮影が実現しました。



お土産処
高殿のおいしいもの
たたら侍グッズもあそび!

元小屋
たたら場全体を管理する事務所の役割をする場所。たたら操業の期間を決めたり、出雲大工の操業交渉や安全管理を行っており、村員(むらび)が初めて管理していました。



炭焼き小屋

たたら操業に欠かせない木炭を作る場所。現在の1回の操業で約12トンの木炭が必要とされています。炭山の木炭を作る炭焼き師(まき)を山子(やまこ)といひ、小屋に降り炭焼きに専念します。少し高い場所にあるので、ここからたたら村全体が見渡せます!

村入口

公開場所、見観内容等は変更になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

熱中症にご注意ください

出雲たたら村は屋外の施設です。ご来場の際は、熱中症を予防するために、次の点に注意してください。
●こまめに水分と塩分の補給をしてください●帽子などで直射日光を避け、ゆつとした衣服、歩きやすい靴でご来場ください●車内など、暑い高いは危険です。こまめに休憩を取り、無理をしないようにしましょう。

出雲たたら村に関するお問合せは

メールにて【info@izumo-tataramura.jp】へお問い合わせください。

※土日・祭日も個人の都合および公開の内容によっては、ご来場できない場合がございます。
※メイン施設等の設定によっては公開メールがお客様に届かない場合がございます。
※【izumo-tataramura.jp】からメール受信できるように設定されています。

8月15日(土)～10月1日(日)

営業時間 10:00～16:00
休村日：毎週火曜日
(例)8月15日は休業となります。)

入場料金
一般 1,000円 小中高生 500円

団体料金(20名以上)
一般 800円 小中高生 400円

特別協賛

山陰合同銀行	NTTドコモ CS中国 鳥根支店	セコム山陰	鳥根トヨペット	ラビット
鳥根トヨタ自動車	コアガス鳥根	ユーシーシーフーズ鳥根支店	ココ・コアラウエスト	伊藤園

特別協力： youme TJL 出雲